

## 令和3年度 第2回 学校評議員会

日 時：令和3年11月25日（木）9時50分～：授業公開 10時55分～11時50分：評議員会

場 所：本校会議室

出席者：学校評議員7名 学校職員10名

### 1. 開会

### 2. 学校長挨拶

教育課程3つの学び／カリキュラムの編成／進学型単位制／ICT教育

### 3. 学校からの説明

#### (1) 附属中学校の主な取り組みについて

① 生徒の様子

② 令和3年度の主な取り組み

自主活動／ICTの活用／授業改善／豊かな人間性を育む教育／心身ともに健康な生徒の育成

③ その他

携帯電話の通学時所持について／10周年記念式典に向けての準備／入学志願者数

#### (2) キャリア教育について

① 出願状況

② 令和4年度日程および本校進路関係日程

・学校推薦型・総合型選抜希望者一覧

#### (3) SSH教育について

① 探究活動のための取組

・いままで理数に特化していたが、さらに磨きをかけて新たな取組をしていきたい。

② 地域交流

・第5期のミッションに地域交流がある

③ 普及活動

・第5期のミッションのメインとなる。NAGANOサイエンスコンソーシアムの形成。

④ 海外交流

⑤ 研究成果の外部評価等

#### (4) 学校評価

・ここ数年評価が下がっている。大きな改革をしている途中であることが下がっている要因の一つと考えられる。

### 4. 質疑及びご提言

#### (1) 附属中学校の入学者選抜について

・志願者数の減少について今後、分析してほしい。

## (2) 附属中学校の生徒の様子について

- ・市内の中学校では、不登校は3年生で減少する。出口に向かっているためかもしれない。3年生になった時に、次のステップになるものを与えてあげるといいかもしれない。
- ・子供たちに楽しみができたり、クラブ活動を継続させていくのも良いかもしれない。
- ・楽しいことは単発的なことになってしまう。面白いことについて、分野を変えて時間をうまく取って継続的に興味をもっていけるようにしたらよいと思う。面白さが連続しているのが大切ではないだろうか。
- ・いまの中学・高校生は3年間のうちの2年間がコロナで可愛そうであった。高校生には希望の大学に入れるようにがんばってもらいたい。

## (3) ICT教育について

- ・どのような場面で、どのような効果があったか。どのように検証していくかの検討も大切。

## (4) 全体

- ・SSH一つ取ってみても先駆者として勇気のある取組だと思っている。先生方が力を傾けてやってくれているのが、この評議委員をやらせていただいてよくわかった。
- ・附属中学校は、憧れの中学校だと思っている。保護者も憧れをもっている。不登校の生徒のことは気になることもある。先端で、先をみこしていくことにエールを送りたい。
- ・倍率より、どう育てるのが大切。高・大の連携を強めていくことをやらせてもらえればいいのかなどと思っている。ICT教育においても協力していけたらと思っている。屋代高校は進学実績も取れているので、頑張ってもらいたい。
- ・アンケートの結果が改善に向かっているのは先生方の努力の結果だと思っている。家庭学習について保護者がいろいろ言うのはなにか違うと思う。中学生自身は分かっているので親の意見は次でよい。
- ・中学の自主学習について、学習塾への依存はいけない。入試のためだけのトレーニングをさせ過ぎて、自分で物事を考えることをしない生徒もいる。自分で物事を考えて対策を取ることのできない子も多いと感じる。保護者アンケートの提出率の向上も課題であると思う。
- ・画像を使った教材など、工夫がされている。先生方のご苦勞のたまものである。自主学習など、成績に結びつかないと、なかなかやらないというのは、自分を振り返ってみても分かる気がする。目にみえるもの、自分の将来像と結びつくものが与えられるといいのではないだろうか。先輩方の成功例を見せるのもよいかも。

## 5. 諸連絡

- ・学校評価の依頼
- ・次回の開催時期：2月に予定。また都合調査に協力を。

## 6. 閉会